

〔活動報告〕

市民連携「市民学びの会」活動報告

アユチ雅楽会

雅楽は、千年以上にわたり受け継がれてきた音楽で、世界最古のオーケストラとも呼ばれています。アユチは「めでたき物をもたらす風」を意味する古い言葉。アユチ雅楽会は、神社・寺院の祭礼・縁日や各種行事・イベントでの奏楽をとおして「幸いを届けたい」という想いで活動しています。

コロナ禍に見舞われた2020年度。例年の奏楽活動は、ほぼ中止となりましたが、12月23日に瑞穂文化小劇場で開催された『名古屋市立大学×名古屋市文化振興事業団 連携協定締結記念イベント～with コロナ時代の劇場と地域文化～』では、名古屋市指定無形文化財である催馬楽「桜人」を奏楽することができました。このイベントでは、「オンラインと劇場の共存」「コロナ時代に合った地域文化活動と文化施設の活用」をテーマにしたシンポジウムを軸に、名古屋市立大学に縁のあるアーティストによるパフォーマンスが行われました。

催馬楽「桜人」の奏楽は、催馬楽桜人保存会（名古屋市指定無形文化財保持団体）、名古屋市博物館サポーターMARO（名古屋市立大学 学部生サークル）、アユチ雅楽会によるコラボレーションにより行われました。3団体のコラボ奏楽は、2016年より継続実施しています。

最後に今までのコラボ奏楽の記録を紹介して結びとします。

- 2016年11月6日 やっとかめ文化祭（名古屋市博物館）
- 2017年10月21日 第63回名古屋まつり 郷土芸能祭（オアシス21）
- 2018年10月20日 第64回名古屋まつり 郷土芸能祭（オアシス21）
- 2018年11月4日 地域伝統芸能全国大会（日本特殊陶業市民会館）
- 2019年10月19日 第65回名古屋まつり 郷土芸能祭（オアシス21）

（渡邊良永）



（連携協定締結記念イベント）



（やっとかめ文化祭）

2020年度 市民連携「市民学びの会」の活動

コロナ禍の影響により2020年2月より学内での活動を自粛してきました。室内サークルのなかで当分活動再開の見込が不明として3月ごろから「英字新聞を読む会」「西洋史研究会」「オルテガを読む会」「俳句サークル」などはZOOMによる活動を始めました。理事会も3月より情報交換を目的として毎月ZOOMによる会合を開催しています。

個人接続のZOOM（無料40分版）は運営上効率がよくないために理事会に諮り10月より学びの会として有料ZOOM（時間制限なし・年間利用料二万四千元）を活用しています。

なお今年度の会の総会は開催できませんでした。会員相互の交流を図るためには対面式の座の早期再開を待ち望んでいるところです。

（市民連携「市民学びの会」理事代表・山下善久）

オンライン開催学習サークル報告

●大衆社会論研究会

研究会の名称は「大衆社会論研究会」とし、最初に選んだテキストはスペインの哲学者オルテガ・イ・ガセットの『大衆の反逆』（神吉敬三訳、ちくま学芸文庫）でした。原著は1930年に刊行され、その後世界各国で翻訳され、大衆社会論の古典として世界的に知られるようになりました。本書が刊行されたころのヨーロッパはドイツ、イタリア、スペインでファシズムが台頭し、ヒトラー、ムッソリーニ、フランコなどの独裁者が政権を握り、それを大衆が熱狂的に支持するという激動の時代であり、ヨーロッパの市民社会から生まれた民主主義が危機に瀕していました。本書でオルテガは20世紀が「大衆の反逆」「大衆の支配」の時代になると予言し警鐘を鳴らしたのです。

毎月1回例会を開催し、報告者を決めて2時間ほどかけて報告と自由討議を行っています。ホストは村井忠政が務め、現在5名の会員で運営しております。『大衆の反逆』のあとには、F. パッペンハイムの『近代人の疎外』（栗田賢三訳、岩波書店）を読んでいます。

(村井忠政)

●英字新聞を読む会

2020年2月コロナ禍により活動を一時停止しましたが、7月からZOOMによりオンライン例会を再開しました。最初は十分なミーティング効果が出るのか半信半疑でしたが、予想以上に充実した例会を持つことができ、ZOOMも悪くないという印象です。

参加者も従来より2名脱落した程度で、16～17名が参加しています。通常なら会終了後、有志メンバーは喫茶店で雑談して帰るのを楽しみにしておりましたが、それができないのが唯一残念なことです。

(河面祥三郎)

●俳句をつくり語る会

「俳句サークル」は、俳句をつくり語る会として2015年4月に発足。月に一回開催してきましたが、コロナ禍によりゼミ教室では2020年1月を最後として中断しました。翌2月は休会として3月より通信句会として活動を開始しました。スマートフォンやパソコンを所有していないメンバーがいるために郵便手段を含めて、幹事が月に4句の投句をまとめそれらの一覧表をメンバーに還元、これを基にして6句選択して連絡していただきます。今回は集計した結果をメンバーに送付します。この上で送付日から3～4日後にZOOMにより意見交換会を一時間半掛けて実施しています。

この会にはパソコンを活用できないメンバーは残念ながら参加していませんが、対面式の句会とほぼ同じ効果が得られていると思います。しかしこれもゼミ室での直接交流実績が寄与しているところ大と感じています。因に現在の会員数は9名ですのでこのような運営が成立しているのです。ゼミ教室での早期活動開催を待ち望んでいる次第です。

(山下善久)

市民連携「市民学びの会」とは

市民連携「市民学びの会」は、市民に学び（生涯学習）の場と機会を提供することを趣旨として、2007年9月30日に設立された市民と名古屋市立大学を結ぶ市民主体の団体です。この会では、学習サークルなどを組織し、ご要望に応じたプログラムの開催も計画してまいります。

学習サークル一覧

英字新聞を読む会・英語スピーキングの会・哲学サークル・移民の国アメリカを考える会・古典輪読の会・皆で語ろう太平洋戦争・子育てサロン・古典文学に親しむ会・俳句を作り語る会・アユチ雅楽会・八雲琴の会・西洋史研究会・日本の移民問題を考える会・ドイツ語初歩・大衆社会論研究会